

長崎純心大学



学生相談室だより

第25号

2013. 4. 12 発行

学生相談室のご案内
開室曜日：月曜日～金曜日
開室時間：12:00～16:00
場 所：保健センター内

色とりどりの花々が咲き始め、新緑が美しい、さわやかな季節となりました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい生活には慣れてきましたか？ 2年生以上のみなさんは、新しい学年を迎え、気持ちを新たにしていることでしょうか。学生生活の中で、戸惑いを感じることもありますが、焦らずゆっくりとなじんでいってくださいね。悩みを誰かに聞いて欲しいとき、相談をしたいときなど、学生相談室を気軽にご利用ください。

～ カウンセラーからひとこと ～

貴方は大学で何を学びますか？

浅香 佐輝子（木曜日担当）

花の咲く季節となりました。皆様、新年度の始まりはいかがですか？

先日、あるテレビ番組で日韓印の学生が、「大学で何を学ぶか？」ということインタビュー形式で答えるというのを見ました。東大生は、「周りの人が皆、大学に行くから来ました。何になりたいかわからなくて、今、考えています。大学は人間関係を学ぶ場で、勉強はほとんどしていません。」と答えたのに対して、ソウル大生は、「しっかり勉強して、出世して、育ててくれた親の恩に報いたいです。国の発展のために頑張り、世界のトップを目指したいです。」と答え、インド工科大生は、「大学は自分の専門性を深め、伸ばすところです。将来は起業したいです。」と答えていました。

出演した東大生は文系学生が多く、ソウル大生とインド工科大生は理系学生が多いように思われましたが、それを差し引いたとしても東大生は（も）指示待ち族？・・・のように感じてしまいました。番組の最後にソウル大生が、「日本の学生が、あまり勉強していないと聞いて安心しました。これからは韓国の方が世界を引っ張っていけますね（笑）」と言ったのが、なんともため息の出る締めくくりでした。

さて、貴方は大学で何を学びますか？ どうか自分なりの目標を持って、有意義な4年間にしてくださいね。



「愛」って何だろう？

川浪 由喜子（火・水・金曜日担当）

こんな物語を聞いたことがあります。

「ある国の王に3人の息子（三つ子）がいました。王は、1人を後継者に選びたかったのですが、3人ともとても賢くて勇敢だったので、選ぶことが困難でした。そこで、王はある偉大な聖者に相談し、あるアイデアをもらいました。

家に帰った王は、3人の息子呼び寄せて、花の種が入った袋を一つずつ与え、『私はこれから巡礼の旅に出るので、数年後に戻ってきた時、この種を私に返さなければならない。そして、それを最も守った者を、私の後継者にする』と伝え、旅に出ました。

数年後、王が戻ってきました。1番目の息子は、種をあるがままで返さなければいけないと考え、金庫にその種を入れていたのですが、そこを開けると、種はすべて死に、悪臭を放っていました。2番目の息子は、その種を売ってお金を取っていたので、そのお金で新しい種を買い、王に渡しました。そして、3番目の息子は、王を色とりどりの花が咲き乱れた庭園に連れて行き、『これがあなたが私に下さった種です。時期が来たらすぐに種を集めてお返しします。』と言いました。

誰が後継者になったかは、もうおわかりですね。皆さんだったら、この種をもらったら、どうされるでしょうか？ この物語を通して、何かを感じ取っていただければ幸いです。



『あなたの行きたい方向は、どっち？』

瀬頭 りつ子（月曜日担当）

ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』という物語を知っていますか？少女アリスが白い兎を追ううちに兎の穴に落ちてしまい、そこから言葉を喋る動物や人間のようなトランプの札が住む、ファンタジーの世界を冒険する物語です。その中で、アリスが猫に「ここからどっちへ行ったらいいのかわからない、教えてもらえませんか？」と尋ねると、猫が「そりゃ、あんたがどこまで行きたいかにかかってるんだよ」と答えるシーンがあります。格好良いシーンですね。私たちが生活する中では、「〇〇さんがあっちに行くから、私もあっちに行こう」など、自分の行動を決定するのに、他の人の言動の影響を受けることがあります。それはそれで悪いことではないのですが、ただそれが度を越すと、自分が本当に進みたい方向を見失ってしまうこともあります。自分が進みたい方向を見失わないように気をつけ、目標へ向かう為の手立てを思い描きながら、日々を過ごしていきたいですね。

